<地域型住宅グリーン化事業に対する取組み>（長寿命型・高度省エネ型・省エネ改修型・優良建築物型共通）　　<様式3－1>

Ⅰ．平成30年度の取組みの実績

グループ名称	住継ぐ四季の家Tochigi研究会				
H30採択グループ番号	07	—	0620	—	0175

A H30年度にグループとして力を入れた取組み

内容	グループとしてH30年度に力をいれたのは、『栃木の四季』の気候に対応した住みやすい基本性能を実現するために、夏の多雨多湿や冬の少雨乾燥、昼夜の厳しい寒暖差に対応でき、長い間状態を維持管理できる体制を目指してきた。その為に、定期的に意見交換会や勉強会を開いた。

B 各種説明会・研修会の実施について

①事業	事業実施説明会	有	開催日	2018/08/02	名称	グリーン化事業説明会				
	内容	グループのH29年度の実績と取組を報告し、前年度との違いを中心にH30年度の方向性、仕様の説明をし、質疑受けて答えた。また、現在予定している物件をお聞きし、事業者ごとに優先順位をつけた。								
②消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2018/07/29	名称	完成見学会				●
	内容	長期優良住宅の完成に伴い、各構成員のお客様や周辺地域のお客様を対象に見学会を開いた。10組ほどのお客様に来て頂き、コンセプトや性能に関して、説明できた。								
	消費者説明会 2		開催日		名称					
	内容									
③工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2018/09/12	名称	ZEH研修	タイプ	座学	●	
	工務店研修会 2	有	開催日	2018/10/11	名称	LTSP研修	タイプ	座学	●	
	工務店研修会 3	有	開催日	2018/10/17	名称	ZEH寺子屋	タイプ	実習	●	
	工務店研修会 4	有	開催日	2018/11/02	名称	パッシブワークショップ研修	タイプ	実習	●	
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ			

C 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有	
	内容	ZEH研修やZEH寺子屋を定期的に行い、未経験工務店様へまずZEHの知識とエネルギー計算方法を勉強して頂き、お客様への説明ができるまでサポートとした。	
取組み②	サポートの有無 2	有	
	内容	未経験工務店が申請する際に、事務局内で工務店ごとにサポートメンバーを選任し、つきっきりでわからないところをレクチャーし、自社ですべて対応できるようにした。	
取組み③	サポートの有無 3		
	内容		

D 住宅履歴情報の蓄積について

① 履歴情報預り証の発行件数	発行済		発行予定		
② 住宅履歴情報の保管先	情報サービス機関	機関名	りれきJIO'S		

E 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有	
内容	廃業等が発生した場合、共通した点検や維持管理、メンテナンス等のサポートを持ち回りで行う。	
② H30年度における施工構成員の廃業	無	
対応内容		

F 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組 ①	有	
内容	省エネ講習会（ZEH研修やZEH寺子屋など）への受講をグループ内で積極的に促し、経験値が高い工務店を講師役にした。	
省エネ化に対する取組 ②		
内容		
BELS工務店の登録数	4 社	

<地域型住宅グリーン化事業に対する取組み>（長寿命型・高度省エネ型・省エネ改修型・優良建築物型共通）　　<様式3－2>

Ⅰ．平成31年度の取組みの計画
（1）グループの信頼性と技術力の向上に向けた取組みの計画

グループ名称	住継ぐ四季の家Tochigi研究会				
H30採択グループ番号	07	—	0620	—	0175

A 各種説明会・研修会の実施について

①事業	事業実施説明会	有	開催日	2019/07/25	名称	事業内容説明会			
	内容	前年度と同様にグループのH30年度の実績と取組を報告する。そして、H31年度では、前年度と大きく違う部分が多いので、そこを中心に説明会を実施し、研修会のスケジュールの発表をする。							
②消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2019/08/25	名称	完成見学会			
	内容	前年度と同様に、実際に完成した長期優良住宅やゼロ・エネルギー住宅を構成員のお客様や周辺のお客様へ見て頂き、性能の説明ともに、実際に体験して頂く。							
	消費者説明会 2		開催日		名称				
	内容								
③工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2019/09/11	名称	ZEH研修	タイプ	座学	
	工務店研修会 2	有	開催日	2019/10/09	名称	LTSP研修	タイプ	座学	
	工務店研修会 3	有	開催日	2019/10/16	名称	ZEH寺子屋	タイプ	実習	
	工務店研修会 4	有	開催日	2019/11/06	名称	パッシブワークショップ研修	タイプ	実習	
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ		

B 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有	
	内容	前年度と同じく、ZEH研修やZEH寺子屋を定期的に行い、未経験工務店様へまずZEHの知識とエネルギー計算方法を勉強して頂き、お客様への説明ができるまでサポートとして行う。 目標は2社	
取組み②	サポートの有無 2	有	
	内容	事務局のサポート無しで、申請手続き可能な未経験工務店を増やす為に、サポート体制を強化する。 目標は2社	
取組み③	サポートの有無 3	有	
	内容		

C 住宅履歴情報の蓄積について

住宅履歴情報の保管先	情報サービス機関	機関名	りれきJIO'S

D 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有	
内容	前年度に引き続き、共通した点検や維持管理、メンテナンス等を維持し、廃業等が発生した場合、サポートを持ち回りで行う。	

E 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組み （新築）	有	
内容	前年度と同様に省エネ講習会を経験の高い工務店に実施する。	
省エネ化に対する取組み （改修）		
内容		

F 省エネ改修に関する研修の計画

研修計画 ①	有	実施日	2019/11/06	
内容	省エネ改修型の詳細が分かり次第、グループ向けの事業者研修会を開催する。			
研修計画 ②		実施日		
内容				

<地域型住宅グリーン化事業に対する取組み>（長寿命型・高度省エネ型・省エネ改修型・優良建築物型共通）　　<様式3－3>

Ⅱ．平成31年度の取組みの計画
（2）地域型住宅及び生産体制の整備に関する計画

グループ名称	住継ぐ四季の家Tochigi研究会				
H30採択グループ番号	07	―	0620	―	0175

A 提案する地域型住宅の特徴

内容	地域住宅のコンセプトを「四季（喜）を住み継ぐ、4つの”キ”（期・生・木・輝）」とし、また4つのキーワードを設定し、住まい手が”栃木の喜びを長く継げる住宅”を目指す。 【①「期」⇒長持ち／快適／丈夫　②「生」⇒健康／長生き　③「木」⇒木材　④「輝」⇒地産地消】	

B 地域材の利用に関する共通ルール

①-1 1棟当たりの主要構造材地域材の使用割合	50%未満		50%以上	■	80%以上		

①-2 地域材の使用部位			② 地域材の利用に関する補足説明
主要構造材	土台	有	特になし
	柱	有	
	梁・桁等の横架材等	有	
羽柄材	間柱、根太、垂木等	有	
造作材	枠材、廻縁等	有	
板材	壁板、床板等	有	

C 生産体制の整備と生産性向上に向けた取組み

① 地域材の調達の共同化に向けた取組み		有	
内容	構成員間の相互交流を積極的に行い、地域材の需要数を管理し、供給先を絞って必要数を確保してもらう。		
② 建材・特定資材の調達の共同化に向けた取組み		有	
内容	構成員間の相互交流を積極的に行い、使用する建材等の情報共有を推進し、一部の住設建材は共通の流通事業者より購入することで、資材の調達の共同化を図っている。		
③ 地域材・建材・資材の在庫供給情報の共有化		有	
内容	月に1度の定例会の中で、受注予定物件の共有を進め、需要数を管理し、適時構成員中でコントロールする。		
④ 施工に関する統一ルール		有	
内容	定例会の中で、経験値の高い構成員が講師となり、施工に関わる研修会を開始し、施工技術の引上げをする。 地盤調査においては、10年間の地盤保障を行い、住宅所有者に対し長く安心して暮らせる信頼性の向上に努める。		
⑤ 住宅のメンテナンスに関する統一ルール		有	
内容	定期点検として、1ヶ月・3ヶ月・6ヶ月・12ヶ月、以後1年ごとに実施し、定例会の中で、点検・補修など実施した活動を報告する。		
⑥ 施工検査（瑕疵担保責任保険の検査以外）		有	
内容	月に1度の定例会の中で、共通の同一ルールに基づいた検査基準の検討を実施する。		
⑦ 見積りに関する統一ルール		有	
内容	一部の商材については共通の見積システムを活用し、流通店をグループリーダーとして、見積・積算方法のルール化を進めている。		
⑧ その他の共通ルール		有	
内容	特になし		

D 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備に対する取組み

① 週休2日制の導入の取組	有	内容	工程管理の徹底を全事業者に促し、漸次週休2日を月に1回、2回と増やしていく。
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	有	内容	建設キャリアアップシステムについての勉強会をする。
③ 社会保険への加入	有	内容	グループ全体の事業者へ加入するように定期的に促す。
④ 建設工事従事者の安全及び健康の確保のための取組	有	内容	安全講習会の定期的な実施。 グループ全体の事業者へ健康診断の受診を定期的に促す。

<地域型住宅グリーン化事業に対する取組み>（長寿命型・高度省エネ型・省エネ改修型・優良建築物型共通）　<様式3－4>

Ⅱ．平成31年度の取組みの計画
（3）地域の産業・住文化・景観等に関連する計画

グループ名称	住継ぐ四季の家Tochigi研究会				
H30採択グループ番号	07	—	0620	—	0175

A 地域の産業・住文化・景観等、和の住まいの取組みに関する対応

① 畳の活用	有	内容	今年度の使用予定枚数の設定：1畳換算で60枚
② 和瓦の活用	有	内容	今年度の使用予定枚数の設定：200坪
③ 襖・障子の活用	有	内容	今年度の使用予定枚数の設定：3×6換算で20枚
④ 地域の伝統的素材の活用	有	内容	栃木県伝統工芸品と指定されている（大谷石・日光彫・都賀の座敷箒・藍染め製品・益子焼）のうちいずれか一品の要素を提案する

B 地域の住文化に関する取組み

① 地域の伝統的なデザインの継承	無	内容	
② 地域の住まい方の継承	有	内容	栃木県伝統工芸品と指定されている（大谷石・日光彫・都賀の座敷箒・藍染め製品・益子焼）のうちいずれか一品の要素を持った商材を進呈、もしくは建築物の一部として使用し、地場伝統・知識の継承を進めていく
③ 地域の街並み形成への配慮	無	内容	

C 被災地の復興に資する取組み

①東日本大震災・平成28年熊本地震・平成30年7月豪雨・平成30年北海道胆振東部地震の復興に資する取組み

特になし

②地域型住宅の供給地域において災害等が発生した場合に検討している取組み

特になし